

一般社団法人日本計量振興協会

第5回計量功労者表彰を受賞して

佐藤 竹一郎

平成28年5月26日ホテルインターコンチネンタル東京ベイで開催されました、一般社団法人日本計量振興協会総会におきまして栄誉ある会長表彰を受けましたことは、誠に身に余る光栄と深く感謝しております。

このことは、ご推薦を頂きました公益社団法人神奈川県計量協会を始めとする関係者各位のご配慮と、常日頃からの当計量士会会員皆様方のご支援による賜物と心から感謝申し上げます。

ここで、受賞を機会に私の計量人生の歩みを振り返って見ますと、二つの大きな道がありました。一つ目の道は、昭和40年4月に神奈川県計量検定所に勤務し(計量関係に従事したスタート)平成16年8月退職までの38年間です。

計量行政職員として、計量法の目的である「適正な計量の実施の確保」に務めてまいりましたが、この間、昭和60年5月に神奈川県適正計量推進協議会(現計量協会適正推進部会)を設立し、流通業の計量管理の推進を図りました。また、平成10年には計量記念日事業として「計量フェア」の実行計画・開催に勤め、現在に至るまでの「計量フェアかながわ」の礎を築いたことが思い起こされます。

二つ目の道は、計量士として、その職務であります「計量管理」に携わったことです。平成17年4月に(株)伊勢丹(現三越伊勢丹)に勤務し相模原店を担当することとなり、当計量士会に入会しました。

(株)伊勢丹の計量士時代には、平成18年から平成22年までの5年間独立行政法人産業技術総合研究所計量教習センターの短期特別教習(毎年2回)講師として、都道府県・特定市等の職員を対象に「商品量目の立入検査」の実習教育に務め、300名程の卒業生を送り出しました。

(株)伊勢丹の計量管理は昨年1月末にその職を離れましたが、平成21年4月当計量士会理事、平成23年12月に会長職を拝命し、関係団体役員としては、平成23年6月公益社団法人神奈川県計量協会理事、平成26年5月一般社団法人日本計量振興協会理事に就任し現在に至り、今は三つ目の道を歩んでいる処であります。

この三つ目の道は、難所が多く、一進一退或は一步進めては歩を休めるなど、私の計量人生の中で一番厳しい歩みと感じますが、今回の受賞を励みとし、常日頃の会員皆様方のご支援とご協力に答えるよう当計量士会の発展に邁進していく所存でございます。

今後も皆様方の温かいご支援・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます